

心理学において 失敗はどのように扱われてきたか

東京大学教育学研究科 市川伸一

How Psychologists Viewed the Failure
Shin'ichi Ichikawa (the U of Tokyo)

2013/4/24

失敗、誤り、間違い・・・ failure, error, mistake, ...

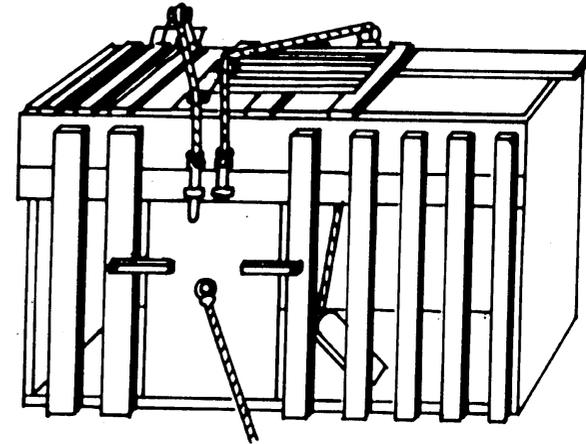
- 日常生活でも、かつての心理学でも否定的イメージ
- 「悪いこと」「しないほうがよいこと」「避けるべきこと」
- 学校でよくある標語 「教室は間違うところ！」
現実の教室ではどうか？
John Holt の指摘
子どもたちは、失敗を恐れ、隠そうとし、わかったふりをする
教師の建前と本音
「間違いは大切」と言うが、間違えたときの対応は冷たい

行動主義心理学

Psychology of Behaviorism

- 19c 末 ~ 20c 前半
 - 成功には賞 **reward**、失敗には罰 **punishment**
 - 学習とは:
 罰を避け、賞を求めて、適切な行為を獲得すること
 - 基本的には、失敗はよくないこと、避けるべきこと
- しかも、
- 賞の効果と罰の効果の非対称性 **asymmetry**
 正しく行動して、成功報酬を得るほうが学習はスムーズ
 - 簡単な課題から **small step** でしだいに高度に

Thorndike のネコの問題箱



ネコの問題箱の学習曲線 learning curve の例

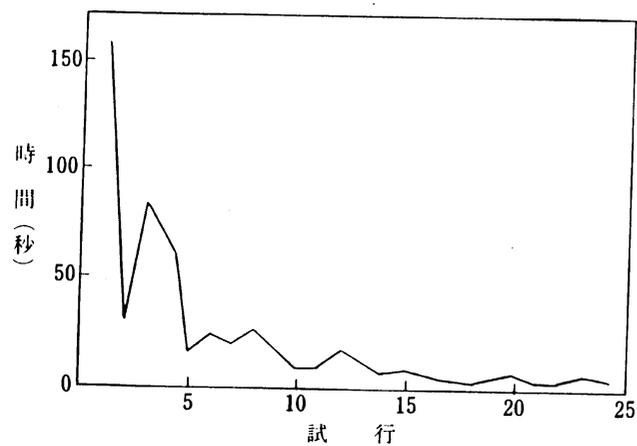


図 5.2 ネコの学習曲線の例 (Thorndike, 1911)

認知発達理論

theories of cognitive development

Piaget から、認知心理学 Cognitive Psychology へ

- 発達過程で幼児は多くの誤りをおかすが、自己修正可能
- 過剰一般化 **overgeneralization**
限られた現象からルールを抽出して普遍化するための誤り
ルール抽出能力の高まりを表す
賞罰を与えなくても、自然に適応 (例: 言語獲得)

動機づけの認知理論

cognitive theories of motivation

- 動機づけ = 自らの行動と結果(成功・失敗)の
随伴性 *contingency* の認知
- 学習性無力感 *learned helplessness* (Seligman, 1967)
行動と結果の随伴性がない状況で獲得された無気力
- 帰属理論 *attribution theory* の適用 (Weiner, 1971)
失敗を内的で可変的な要因(=努力)に帰属すれば
意欲は減退しない
- 再帰属訓練 (Dweck, 1975)
失敗を努力に帰属させることにより、課題への取組み
が意欲的に

失敗の積極的活用

Positive Use of Failure

- 認知カウンセリングでの教訓帰納 *lesson induction*
問題解決経験から教訓を抽出して活かすことで学習
思い違い、自分のしがちなミス、気づかなかった解法など
学習の成果とは、どれだけ有効な教訓を抽出できたか
Gick & Holyoak (1983) の *schema induction* の拡張
- 「失敗への柔軟性」と「思考過程の重視」
FT尺度の作成: 堀野・市川・奈須 (1990)
認知主義的学習観 *congnitivism belief about learning*
の尺度 (市川, 1995; 植木, 2001; 市川ら, 2010) に発展

学習観 **beliefs about learning**

どんな学習方法がいいと思うか

練習量重視	↔	方略重視
丸暗記傾向	↔	意味理解重視
結果重視	↔	過程重視
落胆傾向	↔	失敗活用

↑
高学年ほど重要

失敗をどうとらえるか

Message from each theory

Behaviorism

Don't Fail !

Cognitive Development

Don't Care !

Cognitive Counseling Approach

Use It Positively !

あらためて、失敗の意義と機能 Significance and Functions of Failure

- 実質的機能 **substantial function**
罰、叱責、他者からの悪い評価をもたらす
- 情動的機能 **emotional function**
不快感を喚起する
- 情動的機能 **informational function**
能力情報: 自分の能力に関する情報
認知情報: 知識や方略に関する情報

失敗を認知情報ととらえ、かつ修正可能性が感じられれば、
情動的にもポジティブに

参考図書紹介

- 学習と教育の心理学
(岩波書店 1995, 増補版 2011)
- 学ぶ意欲の心理学
(PHP新書、2001)
- 学ぶ意欲とスキルを育てる—いま求められる学力向上策—
(小学館、2004)
- 勉強法が変わる本—心理学からのアドバイス—
(岩波ジュニア新書、2000)
- 勉強法の科学
(岩波書店、近刊)